

排出事業者アンケートにおける自由意見

回答事業者数：63社 回答件数：70件

分野	概要
意識啓発・情報提供の徹底(14件)	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい分別やポイ捨ての禁止を徹底し、全ての人が無駄のない暮らしを行うようにしてほしい。 ・市民各自にごみの問題を考えてもらうため、ごみ量やごみ処理費用などごみに関する情報について、市民しんぶんだけでなくテレビやラジオも使いながら何度も提供してほしい。 ・市内におけるごみ処理の現状や、クリーンセンターへの搬入手数料等の状況を、広報紙等によって事業者にPRすることが必要。京都市の広報紙は事業所へは配布されていない。 ・ごみを出さないための啓蒙活動が必要。 ・自社の周辺を毎朝清掃して、地域貢献・環境改善に取り組んでいる企業もあり、こうした企業の活動を大きくPRすべき。 ・事業系ごみの問題について、判断したり、内容を正しく理解したりするため、事業者への事前説明や過去を踏まえた経緯などの説明をお願いしたい。 ・クリーンセンターの情報、処理量、経費、リサイクル状況等が排出事業者側に聞こえにくい状況にあるので、機会を捉えて発信してほしい。 ・リサイクルできるものや、リサイクルしてくれる業者についての情報が少ない。 ・市民・市内事業者のよき相談窓口として、懇切丁寧な対応を心がけるようお願いする。 ・会社として、ごみ減量・リサイクルの意識を高める必要があると思う。 ・リサイクルできるもの・できないものの区別がはっきりしない。また、リサイクルに回したくても、引き取り業者が分からず結局ごみとして廃棄することになる。もっとリサイクルの方法を明確にしてほしい。 ・ごみ減量・リサイクルに興味がないわけではないが、その方法が分かりにくい。 ・容器包装リサイクル法に基づき委託金を支払っているが、それらとの関連や施策の包括的な明示、方針説明が必要。 ・一般のごみと事業系ごみの区別があまり分からない。

分野	概要
<p>現在のごみの収集処理システム (11件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(事業系)ごみの分別について,京都市はいつから実施するのか。又は,実施することは今後ないのか。 ・リサイクルを進める中で収集運搬費が上がっているように思える。行政から,各地域性を活かしたダイヤ・運行網を組んで対応できるごみ処理網の指導・要請(企業や許可業者に対して)などをお願いしたい。 ・ごみ収集の効率化,リサイクル分別収集を行ってほしい。 ・当社のグループ会社について一括で収集運搬の契約を結びたいが,許可業者の縄張り意識が強いため,それができない。 ・京都市では,いまだに分別区分が少なくかつあいまいなので,結局種々雑多なごみとして許可業者に渡してしまっている。もっと分別をはっきりしてくれればありがたい。 ・一般廃棄物の処理費は,産業廃棄物の処理費に比べてあいまいになりがち。重量当たりの単価として明示されない。 ・分別収集を進めていくことは必要。 ・他府県と同様,分別収集体制を構築してはどうか。 ・収集業者が排出事業者と民間リサイクル業者の間に入るのは無駄。リサイクル業者が直接収集してくれればコストも下がるのでは。 ・許可業者の料金体系や契約単価が業者によってまちまち。 ・紙ごみ等についてはできる限りリサイクルするように努めているが,機密書類については間違いなく処理されているのかどうか,不安要素を完全には払拭できない。個人情報保護法も施行されており,運搬業者・処理業者はより一層の注意を払ってほしい。

分野	概要
<p>ごみ処理を巡る各主体の責務・負担のあり方 (10件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者・許可業者・クリーンセンター等全てに言えることだが、まずは経営効率向上等の企業努力が必要では。 ・現状では分別せずにクリーンセンターに持ち込むのが最も安く、ごみ減量・リサイクルに努力する者が損をする仕組みになっている。これを改めるべき。 ・きれいな京都を維持していくには安価なごみ処理料金が必要と思う。安易に値上げすると不法投棄が増加するのでは。 ・ごみ減量・リサイクル推進という考え方には賛同するが、費用負担を何でも事業者に押し付ける姿勢はいかがなものか。自治体の役割を原点に戻って考えるべきではないか。 ・ごみの排出事業者の責任を求められているのは理解している。 ・一般家庭・事業所いずれについても、減額等特別扱いなしでごみ処理を有料としてほしい。 ・諸事情を考慮すれば値上げも仕方ないが、長期的・段階的に考えてほしい。 ・ごみ処理については環境問題のひとつとなっており、公平であればひとりひとりの処理費用などの負担は仕方がないのでは。 ・名古屋市に比べ京都市は分別が徹底していない。事業所も家庭も、ごみ処理費用低減のための施策を受け入れるべきであるし、京都市はそうした提案をどんどん行ってほしい。そのうえであれば応分の費用負担は仕方ないと思う。なお、負担の程度を決定するに当たっては、事業所に過重な負担を押し付けることのないよう、公平な決定を希望する。 ・当社からは一般家庭くらいのごみしか出ていないが、一応企業としての責任を果たすため、許可業者に収集をお願いしている。これ以上の負担にならないようお願いしたい。

分野	概要
行政の姿勢に対する意見（8件）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業に求める割に，市の内部の動きは見えてこない。 ・今回の問題は，環境局だけで解決すべきことではない。強いリーダーが舵取りすべき。 ・民間企業は「企業努力」という言葉があるようにある予算でうまくまかなうよう努力しているのに，官は努力をほどほどにしておきながら税金以外から費用を取ろうとする。その辺を分かったの減額措置なら，官でのごみ処理をやめるべき。民間に処分業許可を下ろせば十分対応できる。 ・ごみ処理の努力は理解できるが，事業所の実情の調査も現場にも及んでいないのが残念である。せめて事業所の行っていることの内容も勘案されてはいかがか。 ・京都市には，日本全体（又は世界）をリードするような積極的な施策を打ち出し実行してほしい。今のままでは，京都議定書発効の地として少し恥ずかしい思いがする。 ・早急にリサイクル・減量化対策を推進されることを希望する。 ・京都市のごみ処理は，他の先進都市に比べてごみ減量・リサイクルの面で遅れていると感じている。そこに取り組むなら，多少直接の経費は増加しても，埋立地等で制約のある京都市ではトータルの経費の減少になると考えられる。行政の強力な指導力により，ごみ減量・リサイクルにもっと力を入れて取り組むことを望む。 ・ごみ処理料金を上げることよりも，行政の体制を整え，行政指導をしっかりとすることによりごみ分別等を徹底し，相互努力によってごみを少なくし，最終的にごみ処理量を減らしていくという方向がいいと考える。
不適正排出（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ・当社のごみ置き場に，一般家庭からごみを捨てに来るケースがある。一般家庭への意識向上活動をお願いする。 ・不法投棄にはもっと厳しく対処すべき。 ・事業系ごみを家庭ごみとして堂々と出し，許可業者と契約していない事業所への取締りを講じられたい。
クリーンセンターでの受入（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラはクリーンセンターで受け入れないようにすべき。 ・クリーンセンターへの産廃の1回当たり持込量が規制されているが，車の積載量分までは持込を認めてほしい。運搬回数が増えて困っている。 ・クリーンセンター等については，直接搬入する人が利用しやすい雰囲気・仕組みづくりを。

分野	概要
<p>その他（事業系ごみに関する以外）(21件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この問題は、豊かな暮らしの実現や企業間競争での勝利を目指し、企業も消費者もモノが無駄になること、廃棄されることを前提として大量生産・大量消費を行ってきたことが原因である。 ・コピー用紙の再利用等、エコロジーに心がけていきたい。 ・当社はごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでおり、社員の意識も向上して以前よりも一般廃棄物の排出量は少なくなった。毎年環境側面の見直しを実施し、できることには今後も取り組んでいく。 ・一般市民へのポイ捨て禁止などの啓蒙をお願いしたい。 ・家庭ごみについて、京都市は規制が緩くマナーの悪い人が結構いるので、向日市や長岡京市のようにもっと厳しく細かな規制を作り、指定袋を購入・使用させることも考えたほうがよい。 ・京都市の家庭ごみ収集は分別が進んでいないように思われる。缶等の収集回数を減らし、危険ごみなどを分別して出せるようにしてほしい。 ・京都市では分別収集が進んでおらず、その結果として市民への意識付けができていないと思う。どこで仕分けをしているかよく分からないが、余計なところで税金が使われているのではないかと。 ・私は守山市に住んでいるが、京都市のごみ分別方法はリサイクルを前提に考えられているものとはとても思えない。ごみ処理費は安いに越したことはないが、リサイクルを推進することは行政の責任である部分が多いと考える。 ・事業系ごみだけでなく、家庭ごみの減量について対策を進めるべき。 ・当店のよう小さな企業には当てはまらない設問が多く、十分に答えることができていない点はお許し願いたい。 ・当社はテナントビルに入っているため、設問への回答には限界があることを御了承いただきたい。 ・マニフェスト等の簡素化をしてほしい。 ・他店では食品リサイクル法の対応をどうされているのか御存知であれば聞かせてほしい。 ・当方は中央市場の中卸業者だが、市場内に一定のごみ処理設備があり毎日そこへ出すこととされている。 ・リサイクルを意識すると、ごみが室内にたまってしまうなど生活が不快になってしまう。難しい問題と思う。 ・ごみが出る仕事に関係しているので、大変と思う。 ・ペットボトルやビニール袋等はやめてもらい、何度も使える物に変えてもらっては。 ・再生紙の価格が高いと思う。

区分	概要
<p>その他（事業系ごみに関する以外）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当店（ガソリンスタンド）では，市民であるお客さんが空き缶やペットボトルを置いていく。子ども時代からの教育とそうした容器についての見直しをすべき。 ・ 外国からいろいろなものが入ってきているが，もともと日本には資源が少ない。ライフスタイルから考え直すところへ来ているのでは。 ・ まず経費をかけてリサイクルシステムを構築し，リサイクルを行う消費者に還元していくべき。